

標 題 : A protective effect of the Mediterranean diet for cutaneous melanoma
皮膚黒色腫に対する地中海食事の予防的作用

著 者 : C. Fortes, et al. (イタリア Istituto Dermatologico dell'Immacolata, IDI-IRCCS
臨床疫学部)

掲 載 誌 : Intern. J. Epidemiol. 37: 1018-1029 (2008)

要 旨 :

背 景 : 多くの研究が地中海食事を癌の危険因子として調べてきたが、どれにも皮膚黒色腫は含まれなかった。
後者は通常致死性なので、予防に関する知識を特に重要とする。
我々は、地中海食事の食品成分の役割と皮膚黒色腫を評価した。

方 法 : イタリア、ローマ IDI-San Carlo の入院病棟で、皮膚黒色腫の発症例 304 件と頻度を合わせた対照 305 例による病院での症例-対照研究を実施した。
社会-人口学的特性、病歴、喫煙、日光照射、色素の特徴、および食事に関する情報を収集した。
ロジスティック回帰が、オッズ比および 95%CI(信頼区間)を評価するために使用した方法であった。

結 果 : 複数の日光照射および色素の特徴を注意深く調整した後で、魚(OR 0.65、95%CI=0.43-0.97)、貝類・甲殻類(OR 0.53、95%CI=0.31-0.89)、n-3 系脂肪酸が豊富な魚(OR 0.52、95%CI=0.34-0.78)の毎週摂取、毎日の飲茶(OR 0.42、95%CI=0.18-0.95、 $P_{\text{動向}}=0.025$)、そして野菜(OR 0.50、95%CI=0.31-0.80、 $P_{\text{動向}}=0.005$)、特にニンジン、アブラナ科と葉菜、および果物(OR 0.54、95%CI=0.33-0.86、 $P_{\text{動向}}=0.013$)、特に柑橘類果実の高い摂取に、我々は予防作用を見出した。
アルコール摂取および他の食品には、関連が見られなかった。

結 論 : 全体として、地中海食事に存在する一部の食事因子が皮膚黒色腫を予防するであろうと、我々の研究結果が示唆する。

キーワード : 疫 学、皮膚黒色腫、地中海食事
